



2023年6月27日

各 位

上場会社名 センコーグループホールディングス株式会社  
代 表 者 代表取締役社長 福田 泰久  
(コード番号 9069 東証プライム市場)  
問 合 せ 執行役員 広報・IR 担当 小久保 悟  
(TEL. 03-6862-8842)

### (訂正)「2023年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部訂正のお知らせ

2023年5月12日に開示いたしました「2023年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」の記載内容について、一部訂正すべき事項がありましたので、下記のとおりお知らせいたします。

#### 記

##### 1. 訂正理由

「2023年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」公表後、有価証券報告書の作成過程において、セグメント情報等の表示内容に集約漏れなどによる一部数値の誤りが判明したこと、および明瞭性の観点から記述内容を変更したことにより、訂正するものであります。

##### 2. 訂正箇所

訂正箇所には下線\_を付して表示しております。

①【添付資料】 15 ページ

(5) 連結財務諸表に関する注記事項  
(セグメント情報等)

【セグメント情報】

2. 報告セグメントごとの営業収益、利益又は損失、資産その他の項目の金額の算定方法

(訂正前)

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載の方法と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

当連結会計年度の期首より、各セグメントの経営成績をより適切に評価するため、従来、各セグメントへ配分していた取得関連費用を、報告セグメントに帰属しない「調整額」として表示する方法に変更しております。

なお、当連結会計年度のセグメント情報は、変更後の算定方法に基づき組み替えたものを開示しております。

(以下略)

(訂正後)

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載の方法と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益(のれん償却前)ベースの数値であります。セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

当連結会計年度より、各セグメントの経営成績をより適切に評価するため、従来、各セグメントへ配分していた取得関連費用を、報告セグメントに帰属しない「調整額」として表示する方法に変更しております。

なお、前連結会計年度のセグメント情報は、変更後の算定方法に基づき組み替えたものを開示しております。

(以下略)

②【添付資料】 16 ページ

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

3. 報告セグメントごとの営業収益、利益又は損失、資産その他の項目の金額に関する情報  
前連結会計年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

(訂正前)

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額 (注)1	連結 財務諸表 計上額 (注)2
	物流事業	商事・貿易 事業	ライフ サポート事業	ビジネス サポート事業	プロダクト 事業	計		
営業収益								
外部顧客への営業収益	440,565	146,123	28,812	7,626	—	623,128	10	623,139
セグメント間の 内部営業収益又は 振替高	4,031	11,345	119	4,765	—	20,262	△20,262	—
計	444,597	157,469	28,932	12,391	—	643,390	△20,251	623,139
セグメント利益又は損 失(△)	23,275	2,447	△708	1,099	—	26,114	△1,343	24,771
セグメント資産	<u>289,701</u>	71,322	<u>24,345</u>	<u>54,231</u>	—	<u>439,600</u>	<u>41,217</u>	480,818
その他の項目								
減価償却費	16,322	424	696	1,249	—	18,692	1,124	19,817
減損損失	12	12	—	6	—	31	—	31
有形固定資産及び無形 固定資産の増加額	21,845	371	1,610	15,938	—	39,765	1,027	40,792

(注) 1. 調整額の内容は以下のとおりであります。

- (1) 外部顧客への営業収益は、持株会社である当社で計上したものであります。
  - (2) セグメント利益又は損失の調整額△1,343百万円は、セグメント間取引消去94百万円及び各報告セグメントに帰属しない全社費用△1,437百万円であります。
  - (3) セグメント資産の調整額41,217百万円は、セグメント間取引消去△1,896百万円及び各報告セグメントに配分していない全社資産43,114百万円であります。
  - (4) 減価償却費の調整額1,124百万円は、セグメント間取引消去△79百万円及び各報告セグメントに帰属しない全社費用1,203百万円であります。
  - (5) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額1,027百万円は、セグメント間取引消去636百万円及び各報告セグメントに帰属しない全社資産390百万円であります。
2. セグメント利益は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

(訂正後)

(単位：百万円)

	報告セグメント						調整額 (注) 1	連結 財務諸表 計上額 (注) 2
	物流事業	商事・貿易 事業	ライフ サポート事業	ビジネス サポート事業	プロダクト 事業	計		
営業収益								
外部顧客への営業収益	440,565	146,123	28,812	7,626	—	623,128	10	623,139
セグメント間の 内部営業収益又は 振替高	4,031	11,345	119	4,765	—	20,262	△20,262	—
計	444,597	157,469	28,932	12,391	—	643,390	△20,251	623,139
セグメント利益又は損 失 (△)	23,275	2,447	△708	1,099	—	26,114	△1,343	24,771
セグメント資産	<u>289,811</u>	71,322	<u>24,610</u>	<u>54,645</u>	—	<u>440,390</u>	<u>40,428</u>	480,818
その他の項目								
減価償却費	16,322	424	696	1,249	—	18,692	1,124	19,817
減損損失	12	12	—	6	—	31	—	31
有形固定資産及び無形 固定資産の増加額	21,845	371	1,610	15,938	—	39,765	1,027	40,792

(注) 1. 調整額の内容は以下のとおりであります。

(1) 外部顧客への営業収益は、持株会社である当社で計上したものであります。

(2) セグメント利益又は損失 (△) の調整額△1,343百万円は、セグメント間取引消去94百万円及び各報告セグメントに帰属しない全社費用△1,437百万円であります。

(3) セグメント資産の調整額40,428百万円は、セグメント間取引消去△1,896百万円及び各報告セグメントに配分していない全社資産42,324百万円であります。

(4) 減価償却費の調整額1,124百万円は、セグメント間取引消去△79百万円及び各報告セグメントに帰属しない全社費用1,203百万円であります。

(5) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額1,027百万円は、セグメント間取引消去636百万円及び各報告セグメントに帰属しない全社資産390百万円であります。

2. セグメント利益又は損失 (△) は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

③【添付資料】 17 ページ

(5) 連結財務諸表に関する注記事項  
(セグメント情報等)

【セグメント情報】

3. 報告セグメントごとの営業収益、利益又は損失、資産その他の項目の金額に関する情報  
当連結会計年度 (自 2022 年 4 月 1 日 至 2023 年 3 月 31 日)

(訂正前)

(単位：百万円)

	報告セグメント						調整額 (注) 1	連結 財務諸表 計上額 (注) 2
	物流事業	商事・貿易 事業	ライフ サポート事業	ビジネス サポート事業	プロダクト 事業	計		
営業収益								
外部顧客への営業収益	475,833	159,821	38,985	10,733	10,604	695,977	310	696,288
セグメント間の 内部営業収益又は 振替高	3,972	15,521	147	7,326	6	26,974	△26,974	—
計	479,805	175,343	39,132	18,059	10,610	722,952	△26,664	696,288
セグメント利益又は損 失 (△)	23,748	2,421	186	1,252	△180	27,427	△1,891	25,535
セグメント資産	<u>334,525</u>	66,255	<u>31,960</u>	<u>66,380</u>	38,959	<u>538,081</u>	<u>43,768</u>	581,850
その他の項目								
減価償却費	18,182	416	929	1,606	365	21,500	928	22,429
減損損失	14	—	9	608	—	632	907	1,540
有形固定資産及び無形 固定資産の増加額	<u>40,374</u>	282	<u>2,365</u>	<u>10,310</u>	<u>460</u>	<u>53,793</u>	1,247	<u>55,040</u>

(注) 1. 調整額の内容は以下のとおりであります。

- (1) 外部顧客への営業収益は、持株会社である当社で計上したものであります。
  - (2) セグメント利益又は損失の調整額△1,891 百万円は、セグメント間取引消去△437 百万円及び各報告セグメントに帰属しない全社費用△1,454 百万円であります。
  - (3) セグメント資産の調整額 43,768 百万円は、セグメント間取引消去△2,485 百万円及び各報告セグメントに配分していない全社資産 46,254 百万円であります。
  - (4) 減価償却費の調整額 928 百万円は、セグメント間取引消去△257 百万円及び各報告セグメントに帰属しない全社費用 1,186 百万円であります。
  - (5) 減損損失の調整額 907 百万円は、各報告セグメントに帰属しない全社資産に係るものであります。
  - (6) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額 1,247 百万円は、セグメント間取引消去 215 百万円及び各報告セグメントに帰属しない全社資産 1,031 百万円であります。
2. セグメント利益は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

(訂正後)

(単位：百万円)

	報告セグメント						調整額 (注) 1	連結 財務諸表 計上額 (注) 2
	物流事業	商事・貿易 事業	ライフ サポート事業	ビジネス サポート事業	プロダクト 事業	計		
営業収益								
外部顧客への営業収益	475,833	159,821	38,985	10,733	10,604	695,977	310	696,288
セグメント間の 内部営業収益又は 振替高	3,972	15,521	147	7,326	6	26,974	△26,974	—
計	479,805	175,343	39,132	18,059	10,610	722,952	△26,664	696,288
セグメント利益又は損 失 (△)	23,748	2,421	186	1,252	△180	27,427	△1,891	25,535
セグメント資産	<u>335,680</u>	66,255	<u>32,185</u>	<u>66,661</u>	38,959	<u>539,743</u>	<u>42,107</u>	581,850
その他の項目								
減価償却費	18,182	416	929	1,606	365	21,500	928	22,429
減損損失	14	—	9	608	—	632	907	1,540
有形固定資産及び無形 固定資産の増加額	<u>41,241</u>	282	<u>1,287</u>	<u>10,291</u>	<u>313</u>	<u>53,417</u>	1,247	<u>54,664</u>

(注) 1. 調整額の内容は以下のとおりであります。

- (1) 外部顧客への営業収益は、持株会社である当社で計上したものであります。
  - (2) セグメント利益又は損失 (△) の調整額△1,891百万円は、セグメント間取引消去△437百万円及び各報告セグメントに帰属しない全社費用△1,454百万円であります。
  - (3) セグメント資産の調整額 42,107百万円は、セグメント間取引消去△2,485百万円及び各報告セグメントに配分していない全社資産 44,592百万円であります。
  - (4) 減価償却費の調整額928百万円は、セグメント間取引消去△257百万円及び各報告セグメントに帰属しない全社費用1,186百万円であります。
  - (5) 減損損失の調整額907百万円は、各報告セグメントに帰属しない全社資産に係るものであります。
  - (6) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額1,247百万円は、セグメント間取引消去215百万円及び各報告セグメントに帰属しない全社資産1,031百万円であります。
2. セグメント利益又は損失 (△) は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

④【添付資料】 17 ページ

(5) 連結財務諸表に関する注記事項  
(セグメント情報等)

【セグメント情報】

4. 報告セグメントの変更等に関する事項  
(報告セグメントの区分方法の変更)

(訂正前)

当社グループは当連結会計年度の期首より「事業の深化と創出を通じて、人と社会に新しい価値を届け、持続的な成長を目指す」を基本方針とする5年間の新中期経営計画を開始することに伴い、従来の「その他事業」セグメントを「ライフサポート事業」及び「ビジネスサポート事業」に変更しております。また、複雑かつ多岐にわたる事業領域を効果的かつ効率的に管理するため、当連結会計年度の期首から、報告セグメントへの集計方法を、各事業会社の事業を業種別に分類集計する方法から、事業会社単位で分類集計する方法に変更しております。

(以下略)

(訂正後)

当社グループは当連結会計年度より「事業の深化と創出を通じて、人と社会に新しい価値を届け、持続的な成長を目指す」を基本方針とする5年間の新中期経営計画を開始することに伴い、従来の「その他事業」セグメントを「ライフサポート事業」及び「ビジネスサポート事業」に変更しております。また、複雑かつ多岐にわたる事業領域を効果的かつ効率的に管理するため、当連結会計年度から、報告セグメントへの集計方法を、各事業会社の事業を業種別に分類集計する方法から、事業会社単位で分類集計する方法に変更しております。

(以下略)

⑤【添付資料】 19 ページ

(5) 連結財務諸表に関する注記事項  
(セグメント情報等)

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

(訂正前)

(単位：百万円)

	物流事業	商事・貿易 事業	ライフ サポート事業	ビジネス サポート事業	プロダクト 事業	全社・消去	合計
当期償却額	616	150	285	19	—	—	1,071
当期末残高	<u>8,192</u>	1,597	2,294	479	—	—	<u>12,564</u>

(訂正後)

(単位：百万円)

	物流事業	商事・貿易 事業	ライフ サポート事業	ビジネス サポート事業	プロダクト 事業	全社・消去	合計
当期償却額	616	150	285	19	—	—	1,071
当期末残高	<u>7,732</u>	1,597	2,294	479	—	—	<u>12,104</u>

以上